

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840

GOVERNOR'S 2008-2009 MONTHLY LETTER

国際ロータリー第 2840 地区 2008-2009 年度

ガバナー月信 Vol.12

6

月号



一年間ありがとうございました。

松倉ガバナー事務所スタッフ一同

今月の写真 ● 富岡製糸場 日本初の器械工場として、建設当初は世界最大級の規模を誇り、多くの工女が全国から集められた。現在、世界遺産に登録しようとする動きが強まっている。

Contents

ガバナーメッセージ

2008-09 年度ガバナー 松倉紘洋…………… 2-5

今月のご連絡…………… 6

インターアクト国際交流事業報告…………… 7-8

フィリピン炭素繊維による

水質改善プログラム調印式の報告…………… 9

第2回青少年交換学生

オリエンテーション開催報告…………… 10

研究グループ交換 (GSE) チーム帰国報告…………… 11

2009-10 年度 地区協議会開催報告…………… 12-13

渋川みどりロータリークラブ

創立15周年記念式典開催報告…………… 14

沼田ロータリークラブ

創立50周年記念式典開催報告…………… 15

2008-09 年度

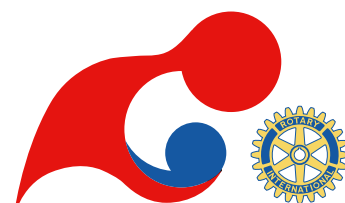
地区大会記念事業完了報告…………… 16

地区主要行事一覧表…………… 17

新入会員紹介…………… 18

出席報告…………… 19

ガバナースタッフのページ…………… 20-21



夢をかたちに

2008~2009 年度
国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー第 2840 地区

ガバナー

松倉紘洋

“ 夢、感謝 ”



会長、幹事そしてすべてのロータリアンの皆様、いよいよ2008-09年度も最終月間となりました。

最後まで、元気で明るく最善を尽くしてバトンタッチを致しましょう！！

ガバナーという、想像だにしなかった身に余る御役を仰せつかりましたが、お陰様で、スタッフをはじめ、多くの方に支えられ、今月を迎える事ができました。有難く、心より感謝致します。

ガバナーというのは地区全体に対する奉仕者だと考え、実践するように努力して参りました。しかし、振り返ってみれば、逆に大勢の皆様からの奉仕をいただいて、年度終了を全うできる時節になろうとしております。あらためてひとり一人のロータリアン、ロータリー家族の皆様、有形無形のお力添えを賜った方々に深く感謝を申し上げる次第です。

青葉の美しいこの月を迎えると、私は恩師より頂いた七言の詩を必ず思い起します。

じじ
事々、心にかなう これ損友

げんげん
言々、耳にさからうは これ益友

かんてん
甘甜 なんぞ苦辛のよろしきに似ん

六月 熱せざれば こく 穀実らず

「いつも自分が言ってほしいことを言ってくれる人は自分自身のためにならない。自分がカチンと来るような言葉を吐く人が実は自分自身のためになっている。微妙なおいしい味わい（甘甜）は苦労があってはじめて得られるもの。うだる様な厳しい暑さがあってこそ、実りがある」というこの詩は、厳しい状況に直面している私たちにとって大いに励みとなるお示しだと思います。

さて、皆様ご承知のように、本年度の地区目標に“魅力あるロータリアンになろう”という一項目があります。魅力あるロータリアンとは何か。それは魅力ある人生を歩む人を言います。魅力ある人生は、その人の生き方によって作られていきます。

1960～61年国際ロータリー会長 エド・マクローリンは“ YOU ARE ROTARY ”と言いました。

「あなた自身がロータリーなのです。ロータリーというのは、国際ロータリーのことでなく、ロータリークラブのことでもない。あなた方一人ひとりの心の中に宿るもの、それがロータリーなのです。」と呼び掛けました。

つまり、ロータリーが何かをしてくれることを期待するのではなく、自分自身がロータリーに対して何ができるのか考えてほしいということです。

別の言い方をすれば“ロータリーの威光を背負うのではなく、ロータリーに光を添える人になってほしい”ということでもあります。

また“魅力あるロータリアンになろう”という目標のすぐ次に“青少年のお手本となるようなロータリアンになろう”という言葉が出て参りますが、これは、それぞれが、ひとつの事の異なった表現だからであります。

私たち人間は他者との関わりなくしては生きて行けません。その関わりの中で、とりわけロータリーという素晴らしいご縁の中での出会いが、自分自身の生き方を変えてくれる良き触媒になると私は感じてきました。ロータリーというのは、私にとって、さまざまな活動を通じて自分自身が磨かれていく場であったのです。だから、心がきれいになるように祈り、願い、いつでもどこでも、人の見ていないところでは特に、人間としてのあるべき姿、社会規範、マナー等を守ることに於いて、個々の行いが耀く人になりたいと歩んできました。なぜなら、こうした行いの積み重ねこそが私たち自身の資産となり、次の世代、すなわち、青少年への貴重な贈りものになると信じているからであります。

最後に、ガバナー会の現況についてご報告致します。

ガバナー会は、親睦と情報交換を目的として1967年に作られた日本ロータリー連絡委員会から発展したものと聞いています。国際ロータリーから正式に認められた組織ではありません。しかし、組織が大きくなり変化が激しい現在では、色々と決議をしなければならないことが多くなり、また検討課題もたくさん生じて参りました。

本年度は、当初よりガバナー会桜井権司議長を中心に積極的に問題解決に取り組んできたと思います。別紙に議長から寄せられた「ガバナー会の現状とガバナー協議会の必要性」を掲載させていただきますので会員各位に一層のご理解を頂きたいと思います。

国際ロータリー第2840地区

2008－2009年度

ガバナー 松倉紘洋

ガバナー会の現状とガバナー協議会の必要性

ガバナー会議長 櫻井 権司

ガバナー会とは、日本全国・34 地区ガバナーが当該年度に参加する任意の会で、正式名称は「ガバナー会」と称します。当初は、同期ガバナーの親睦の会として発足したようで、いまでも RI から正式に認められた会ではありません。しかし、最近その役割は大変重要になってまいりました。と言いますのは、日本各地区のロータリー活動を見えますと、①会員数の減少から地区財政が逼迫してきており、何とか 34 地区に係わる委員会活動の負担を軽減したい点、②ここ数年 RI から推奨される案件が日本文化に照らし合わせるとそぐわない点が出てきていること、③国内外の災害発生時の緊急対応を連帯して行なうこと、④青少年交換の受け入れ等で学生の一括ビザ申請業務を行なうこと、⑤将来青少年交換事業すべてを保険で担保する問題等、現実的に各地区のガバナーが連帯し、可能であるならばエレクト、ノミニーが参加して継続しながら対処しなければならない問題点が多々出てまいりました。単なる親睦だけの会としては済まされない状況になってきたのであります。

ここで、全国 34 地区に係わるいろいろな会を見わたしてみますと、①ロータリーの友、②米山記念奨学会、③全国青少年交換委員会、④ロータリー文庫、⑤国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）非公式なものとしては⑥ローターアクト全国大会、⑦ライラ全国大会とさまざまな会が立ち上がり、それぞれに地区の委員会と連携をとりながら活動しております。これらの会は、本来各クラブ、地区がそれぞれに係わり、管理監督すべきものでありますが、管理運営上は、地区単独で 34 地区それぞれ別々に係わっておりますと、委員会の役員の人選や資金の調達、適正な予算の運営などで不都合な点が出てきているのも事実であります。ガバナーは、そのような適正に機能していない問題点を充分把握し、対処しなければならないところまできていることは紛れのない事実であります。しかし、現実には公式訪問や、地区大会の開催、国際大会への参加などで忙しい毎日を送らざるを得ず、実際にこれらの業務に取り組む時間が取れないことも事実であります。過去、これらの委員会の運営に関しては、経験豊かなパストガバナー諸氏が永続的に役職に付かれ、委員会業務を行っていただいておりますが、基本的には該当年度のガバナーが意見を集約し、それらの委員会運営は、各地区の状況に沿った形で業務推進させることが本来の姿ではないかと考えるのであります。また、各地区のその年度の状況を把握し、毎年会員の負担を減らす改善をしていかなければ、それぞれの地区の財政は破綻してしまう可能性が出てまいりました。

これは取りも直さずロータリーの会員減少に繋がる由々しき問題であると理解されるのであります。会員数の大幅な減少の中で多くのクラブ・地区は予算作成に頭を悩ませておりますが、その中から前述の委員会にも以下のような資金を拠出してしております。ご承知とは思いますが羅列してみましょう。

◆地区より支払う分担金

ガバナー会運営費：	200円×会員数
ロータリー文庫：	300円×会員数
RIJYEC会費：	100円×会員数
平和フェロー支援金：	15円×会員数

◆クラブから直接支払うお金

ロータリーの友購読料 一人／年 2,520円

日本ロータリアンの人数 95,500 人をかけて見てください、思いのほか大きな金額になっております。私たちロータリアンは、現在これだけ多くの資金を拠出して各委員会存続のために資金援助しているとも受け取れるのです。そして、各委員会では潤沢な積立金を所有しているところもございます。その内実は会員一人一人まったく理解してないことも事実です。やはり、資金の運用に関しては、各委員会の活動内容に対して予算付けし、決算内容を正確に監査しながら毎年改善していくことも必要であると考えます。2008～09年ガバナー会は改革を決議致しました。ガバナーに就任して初めて出会う問題がたくさんありますが、公式訪問から始まり多くの事に時間を割かなければなりません。気付いた問題を毎年度の年度に先送りしてしまいますとロータリー変革する機会を失い、衰退するばかりです。

今年度ガバナー会は、このことを気が付いたときから改善しようと話し合い、問題には果敢に挑戦しようと決意致しました。そして、多くの問題が抽出され、それぞれの問題ごとに作業部会を設けて、問題点の把握とその解決策を探って参りました。

問題の解決に至るまでには、まだまだ時間が必要です。しかし、今年度ガバナーはあと僅かで終了してしまいます。改善できなかった点は、次年度ガバナーエレクトにその夢を託して行きたいと思っております。どうかこの点をご理解頂き、次年度ガバナーの皆様には、日本のロータリーが益々発展するように、会員増強できる基盤の整備をしていただき、ご理解を切に願うところであります。そのために、私たち今年度ガバナー会では、「ガバナー協議会」の設置を提案いたしました。日本ロータリーが世界から忘れ去られないように、クラブと共に地区、日本ロータリーにも活力を取り戻したいと思っております。

今月のご連絡

◆今月の地区の主要行事◆

1. 米山記念奨学会 学友会総会

日 時：2009年6月6日（土）受付開始 10：30 開会 11：00

会 場：ホテルメトロポリタン高崎（027-325-3311）

対象者：地区米山奨学委員、米山記念奨学生、米山記念学友会顧問及び会員

2. 「2009-10 年度」 会員増強セミナー

日 時：2009年6月6日（土）受付開始 9：30 開会 10：00

会 場：クレインパーク山楽荘（0270-23-2311）

対象者：会長エレクト、次期幹事、次期会員増強委員長、会長ノミネー

3. 青少年一年交換受入学生修了式

日 時：2009年6月13日（日）受付開始 未定 開始 未定

会 場：未定

対象者：一年受入交換学生及びホストクラブ 会長・幹事・国際奉仕委員長、ホストファミリー、
2009-10 年度青少年交換学生及びスポンサークラブ会長・幹事・国際奉仕委員長

4. 第4回ガバナー諮問委員会

日 程：2009年6月28日（日）受付開始 14：30 開会 15：00

会 場：ホテルアミューズ富岡（0274-64-3636）

対象者：ガバナー諮問委員、ガバナー、地区幹事、地区資金委員

5. 新旧地区役員連絡会議

日 程：2009年6月28日（日）受付開始 16：00 開会 16：40

会 場：ホテルアミューズ富岡（0274-64-3636）

対象者：2008-09 年度地区役員、2009-10 年度地区役員

◆周年行事のご紹介◆

伊勢崎東ロータリークラブ 15周年

開催日：2009年6月12日（金）

会 場：伊勢崎プリオパレス

「インターアクト国際交流事業」台湾学生

“さよならパーティー”参加報告

インターアクト委員会 委員長 下井田 秀一

3月26～29日のインターアクト台湾訪問に続き、R I 2 8 4 0地区のインターアクターが新潟県上越市で4月18日に行われた台湾から来日の清傳高級商業職業学校の学生達との“さよならパーティー”に参加しました。さらにその後、妙高のスキー場での交流会で友好を深め、そのまま妙高青少年自然の家に合同で宿泊して親交を重ねました。翌19日の朝は本当のお別れの場面です。短い期間とはいえ日本と台湾の両国をまたいだ友情交歓は涙の別れとなり、参加したインターアクターにとって忘れられない思い出となったことでしょう。

R I 2 8 4 0地区・R I 2 5 6 0地区との合同で行われている事業で、今年度は新潟側の担当です。R I 2 5 6 0地区インターアクト委員長林氏（高田東R C）はじめご支援いただいたロータリアンと受け入れ校の関根学園高校（上越市）の大滝校長先生や学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

さよならパーティー	日 時	2009年4月18日（土）12：00～
	場 所	割烹「やすね」新潟県上越市
	宿 泊	国立妙高青少年自然の家

参加者

インターアクター

R I 3 4 9 0地区（台湾）	21名（清傳高級商業職業学校）
R I 2 8 4 0地区	16名（4月の台湾訪問参加者18名のうち16名）
R I 2 5 6 0地区	21名

ロータリアン

R I 3 4 9 0地区（台湾）	3名（陳維國三重中央R C会長他）
R I 2 8 4 0地区	3名（下井田委員長、信澤委員、山田副幹事）
R I 2 5 6 0地区	約10名（林委員長、島委員、平林高田東R C会長他）

学校関係

清傳高級商業職業学校	4名（歐校長他）
関根学園高校	数名（大滝校長他）

インタラクティブ国際交流会の様子



フィリピン炭素繊維による水質改善プログラム調印式の報告

世界社会奉仕委員会 委員長 大島 雅彰

世界社会奉仕で交流のあるフィリピン RI3830 地区より現地河川の水質改善依頼を受け、群馬高専の小島教授の発明により日本各地（約 200 か所）にて成功を収めている「炭素繊維を利用した水質改善方法」を活用し、材料及び技術提供の覚書調印式を行ってまいりました。

昨年の 6 月より現地 RC と協力し、現地河川にて実験を行い、今年度、関係者各位の協力により本格的な水質改善を計画いたしました。

炭素繊維の輸出は大量破壊兵器の取扱いとなる為、経済産業省の平和利用の認可を受け、更に施工用設計図及び備品調達の準備を行いました。これらの費用は 2840 地区の WCS 予算にて賄うこととし、下記日程にて現地へ赴き各クラブの覚書調印と合わせ訪比しました。

タイトル：炭素繊維による水質改善プログラム調印式

施工場所：マニラ・ニノイアキノ空港傍のパラニャーケ川に続く、ドンガロ川

寄 贈 者：国際ロータリー 2840 地区松倉ガバナー及び世界社会奉仕委員会

協 力 者：群馬工業専門学校小島昭特命教授

授 受 者：国際ロータリー 3830 地区エド・リモンガバナー及びパラニャーケ
地域 15 クラブ



施工場所

参 加 者：(RC 関係者) RID2840 松倉 G、横山 IPG 及び奥様、WCS 大島委員長、沼田、群馬境 RC 会員 7 名
RID3830、リモンガバナー、アギレ地区幹事、WCS 大場委員長、パラニャーケ・パラニャグ、
パラニャーケ・サウス、パラニャーケ・メトロ、パラニャーケ・ミッドタウン、パラニャーケ・
セントラル、パラニャーケ・サウスウエスト各 RC 会長及び会員、その他マカティ、マカティ・
アヤラ、ラスピニャス・サウス会長及び会員

(協力者) 群馬高専小島特命教授、パラニャーケ市長、ABS-CBN 財団代表ジーナ・ロペス及びスタッフ、
報道関係者他、合計約 70 名

日時及び場所：2009 年 4 月 23 日 18:30 ～、DUSIT THANI HOTEL MANILA

内容：①Ms. ジーナより、財団取り組み中の河川浄化プロジェクトの現在までの取り組みの発表

②パラニャーケ・パラニャグ RC 会長による河川浄化活動の報告

③小島昭教授による、炭素繊維を活用した水質改善のプレゼンテーション及び質疑応答

④パラニャーケ市長による河川浄化の発表

⑤松倉ガバナーによる当プログラムの趣旨説明及び挨拶

⑥エドガバナーによる当プログラムへの御礼と挨拶

⑦両ガバナーによる覚書調印

⑧沼田 RC とラスピニャス・サウス RC 間の WCS の覚書調印と資金授受

⑨前橋東 RC、2840 地区とマカティ・アヤラ RC 間の WCS の覚書調印と
資金授受

⑩群馬境 RC とラスピニャス・サウス RC 間の WCS の覚書調印と資金授受

⑪エドガバナーから松倉ガバナー及び横山直前ガバナーへの御礼及び返礼

⑫マカティ・アヤラ会長の閉式の言葉



集合写真

第2回青少年交換学生オリエンテーション開催報告

～第2回青少年交換学生オリエンテーションを終えて～

担当地区副幹事 峯岸 正典

去る5月9日土曜日、午後4時から7時30分まで高崎ビューホテルで第2回青少年交換学生オリエンテーションが開かれました。

短期（夏期1ヶ月）2名、長期（1年）3名、それぞれ選考試験を通過し、英文、和文合わせて全ての書類が整った上でのオリエンテーションでした。送り出す学生の面倒を見る「スポンサークラブ」、来日する学生の面倒を見る「ホストクラブ」それぞれの関係者も集いました。日本で一年間過ごした交換学生のビクトリア・ワップルズさん（前橋西ロータリークラブ）も参加して下さり、貴重な体験を伝えて下さいました。

印象に残るのは、青少年交換委員長、ガバナーの挨拶に続いて行われた自己紹介の一時です。臨席していた個々のロータリアン自身に留学の経験があったり、家族が過去に交換学生として派遣されていたり、ホームステイの受け入れ先であったりと、大半の方が何らかの形で青少年交換事業と関わっておられましたので、話しに具体性があり、夢があり、本年度の交換学生の皆さんも真剣に聞き入っていました。また交換学生の保護者のお話しも、極めて前向きでした。すでに何家族かは、ホームステイを体験しており、たいへん楽しかったという感想に一様に安堵いたしました。

また、週が明けて5月11日、月曜日、アメリカから、全ての条件が整い、日米における青少年交換事業の調整業務を全うしたという書面が届きました。よかった、これで一安心思っていた矢先のことです。新型インフルエンザの関係で学生の海外交流を中止する動きが私立学校までを巻き込む形になり、情勢は一変したとの情報が入ってきました。翌12日（火曜日）には各学校の校長先生の協議があるとのこと。それを受けて水曜日には具体的に学校からの状況判断が入って参りました。一様に厳しい内容でありました。1年交換学生は8月に来日する予定ですので、若干時間的余裕がありますが、夏期交換は6月下旬には来日するので、対応に追われているというのが現状です。

アメリカから5月15日に帰国した青少年交換委員の方によりますとアメリカでは新型インフルエンザと言っても「ニュースにもならない」ということですが、5月22-23日に行われる青少年交換研究会でひとつの結論が出るのではないかと本稿執筆時点（5月18日）では推測されます。

国際ロータリー第 3700 地区（大韓民国大邱市）を訪問して

国際ロータリー第 2840 地区 G S E 団長 安藤 震太郎

私達 G S E 研修旅行の一行 4 名は 4 月 13 日来韓して 5 月 11 日に帰国するまでの 28 日間大邱市を中心に滞在して大歓迎を受けました。その様子の数々は紙面に言い尽くせませんがこの一ヶ月間の経験は、我々にとって刺激的なたくさんの出来事でした。ここでは大邱市を中心にその印象を三つにまとめて見たいと思います。

まず第一は colorful DAEGU の表題の下に躍進する大邱市街の様子であります。広い道路を走る多数の車は大した渋滞も無くスムーズに進行する姿と市内を取り巻く様に高速道路が通じていて、高層のマンションが林立する姿は韓国第 4 位の都市の現況を表しております。又市街のカラフルな花に彩られた様相は、非常に感動的なものでした。

そして第二には、滞在の間に五箇所の例会、招請歓迎会、地区大会前夜祭、そして地区大会に参加いたしました。例会ではパワーポイントを使い私が拙い韓国語でそれを説明しましたが一応喝采を頂き終了後の宴席でも話題となりました。

地区大会の前夜祭でも朱七錫ガバナーに指名され 4 名が壇上で挨拶いたしました。

例会の運営や進行もクラブにより差はありましたが厳粛な内にもスムーズで会員の活発な発言もあり、大変参考になりました。

地区大会は 2000 名程のロータリアン夫婦が参加して会員は制服に今年のネクタイ、婦人はお揃いのチマチョゴリで大変華やかな大会でした。聞いていると RI 会長代理の挨拶の中にも G S E 研修が進行中であるとの話があったので注目されていることを感じました。会場は大きなホールであり後ろには軽食や飲み物が用意され、それを食べながらの大会でした。午後になると退場者が多くなるのが通例ですが、ここの地区大会ではそれに対して様々な工夫が有り余り退場者がなく 5 時に終了しました。例えばロータリアンがクラブ又はゾーンでまとまり歌や演劇、フラダンス、楽器の演奏などが 10 組以上出演し有名なコメディアン司会盛り上げその他余興もあって仲間が出演するので帰れない様子でした。

そして第三に、大邱市の古い歴史と伝統に育てられたロータリーの皆さんとの友情の架け橋として、研修旅行に参加して 4 名が見聞した事を色々な機会に披露してこれから日韓友好に積極的に取り組みたいと思って居ります。最後に新型インフルエンザが大きな問題となっている時期に全員が元気に任務を果たせたことと、この G S E 事業のために地区のロータリアンの方々の浄財を使わせて頂いた事に本当に感謝申し上げます。

カムサハムニダ



大韓民国訪問の様子

『2009-2010年度 地区協議会』報告 ①

国際ロータリー第2840地区
担当地区副幹事 森田 高史

2009-2010年度 地区協議会が5月16日（土）、伊勢崎市文化会館に於いて開催されました。

松倉紘洋ガバナー・牛久保哲男ガバナーエレクト・清章司地区研修リーダーをはじめ、パストガバナー・地区役員と地区内47ロータリークラブから、会長エレクト・次年度幹事・各委員長など総勢約700名が参加致しました。

ホストクラブ（伊勢崎中央RC）泉実行委員長による開会の言葉、そして松倉ガバナーによる点鐘並びに挨拶で協議会が始まりました。清地区研修リーダーが地区協議会の目的を示し、続いて牛久保ガバナーエレクトから約30分に渡り、7項目に及ぶ地区目標が発表されました。発表では、1月に開催された国際協議会でのジョン・ケニー国際ロータリー会長エレクトの年次テーマ『ロータリーの未来はあなたの手の中に』を熱い心で説明し、会員増強が本年度の最大の事業であることを、また、それに繋がるロータリーにおける親睦の意味について、御自身の思いを語られました。

その後、伊能地区幹事より「2009-2010年度地区組織について」、齋藤財務委員より「予算について」提案され全て発表の通り承認されました。続いてロータリー財団からの表彰があり、1人当たり寄付額上位クラブとして、1位沼田RC・2位渋川RC・3位富岡RC、100%「財団の友」会員クラブとして、桐生中央RCが表彰され、横山公一直前ガバナーよりバナーが授与されました。

また、本年度の新しい試みとして、14委員会の各委員長から委員会の方針が、約1時間に渡り行われました。

午後の基調講演では、国際ロータリー第2680地区パストガバナー深川純一先生より「ロータリーのリーダーシップについて」ご講演頂きました。特に、クラブにおける会長・幹事を、天皇と内閣総理大臣になぞらえ、幹事職の重要性とクラブの自治権を強調され、また、「徳の支配」に繋がる職業奉仕の在り方に言及する等、参加者に今後のクラブ運営について「自信」を与える素晴らしい講演であったと思います。



松倉ガバナー挨拶



牛久保ガバナーエレクト



ロータリー財団からの表彰

『2009-2010年度 地区協議会』報告 ②

その後、8つの分科会に分かれ、深川先生にも第4分科会のカウンセラーをお願いし、90分に渡って分科会が行われました。各分科会とも活発な意見交換が行われ、また牛久保ガバナーエレクトが、8分科会の全てを廻って思いを伝える等、次年度の積極的な活動が期待できる意義ある分科会となりました。

分科会の内容は、分科会の各リーダーから報告が行われましたが、詳細につきましては、後日発行される、地区協議会報告書でご確認下さい。

結びとして、清地区研修リーダーより、クラブリーダーの研修という地区協議会の目的が十分に達成された旨の講評があり、地区大会実行委員長の挨拶、ホストクラブの伊勢崎中央RC会長の閉会の挨拶と続き、松倉ガバナーの点鐘で協議会が終了致しました。

その後、引き続きまして、隣接する、伊勢崎プリオパレスで懇親会が開催されました。広い会場ではありましたが、会場一杯に参加者が集まり、山中トリオによるジャズ演奏をBGMに、一日の疲れを癒しながら歓談が行われ、本当の意味でのロータリーの親睦が行われた様に感じました。

数ヶ月の準備期間を経てご設営を頂きました実行委員会の皆様、ホストクラブを見事にお努め頂きました伊勢崎中央ロータリークラブの皆様、懇親会を担当され大いに盛り上げて頂きましたコ・ホストクラブ伊勢崎東ロータリークラブの皆様に、心から感謝申し上げまして報告とさせていただきます。

ご協力本当にありがとうございました。



深川純一先生より
「ロータリーのリーダーシップについて」



分科会の様子



懇親会の様子

| 渋川みどりロータリークラブ創立15周年記念式典開催報告

渋川みどりロータリークラブ会長 田邊 寛治

この度、「感謝と評価」をテーマとした渋川みどりロータリークラブの15周年記念として昭和の日の4月29日（水）松倉紘洋ガバナー、木暮治一渋川市長をはじめとする来賓並び第5分区 RC と当クラブ総勢160名の登録を頂き、渋川プリオパレスにおいて11時より記念式典、12時より祝賀会が盛況のうち開催、挙行することができました。

1993年12月28日渋川ロータリークラブをスポンサークラブとして RI 加盟認証をいただき本年15年目を迎え、この節目の年を、15年間にわたりご支援をいただいた地域の人に「感謝」をいたし、この10年間における、人と自然をテーマとした2つの継続事業（中学生意見交換会、千年の森整備事業）を精査、推進を計る目的で、点検整備を行い、正しい「評価」のもと、見直す機会とさせていただきました。

市、県、行政並びに多くの方々のご協力、ご支援をいただき大きな成果を上げることができ、成人する20年にむけての大きな指標づくりにつなげることができました。

今後、当クラブの奉仕活動が、社会において更に「意味と価値」のあるものを目指して精進して参りたいと考えます。

私達の15年間にわたるロータリーへの活動と想い、そしてお世話になった方々に対する感謝が十分に伝えられたと思います。

これからも慢心することなく、ロータリーの精神を実践してゆく所存です。
全メンバー総意で作りあげた15年に感謝をし、ご報告といたします。大変ありがとうございました。



挨拶／田邊寛治会長



挨拶／佐藤徳三実行委員長



手に手つないで



全体写真



記念事業／中学生意見交換会



記念事業／千年の森

沼田ロータリークラブ創立50周年記念式典報告

沼田ロータリークラブ 会長 西田 洽司

去る5月10日、沼田ロータリークラブは創立50周年記念式典をディランに於いて開催しました。新緑まぶしい好天の当日は、ガバナー松倉紘洋様、地元国会議員令夫人、県会議員、市町村長、商工会議所会頭様をはじめ、創立スポンサークラブや友好クラブの皆様と共に、各クラブから多数のロータリアンの皆様の友情溢れるご光来を賜り、お蔭様で厳正かつ盛大に式典を挙行することができ、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

式典では「お蔭様で50年、感謝の心で奉仕に邁進」のスローガンを掲げた角田実行委員長の歓迎挨拶に続いて、松倉ガバナーよりRI加盟50周年記念賞と、当クラブ50年の活動実績、特に横山公一パストガバナーの積極的な指導によって実施された過日のフィリピンへのWCS事業の成果など祝意に満ちたご挨拶を頂き、星野沼田市長からは当地で来年開催予定の全国育樹祭を中心に、豊かな自然と歴史に富んだ当地のご紹介と歓迎ご挨拶を頂きました。また創立スポンサークラブを代表して前橋ロータリークラブ坂内光政会長から50年にわたるクラブ活動に対して温かい祝意と高いご評価を頂きました。

続いて行われた祝賀会では、インターアクトクラブのある利根商高生徒による吹奏楽団による若々しい軽快な演奏に続いてご挨拶された牛久保哲男ガバナーエレクトから、今後の地区活動の抱負と共に当クラブへの更なる発展を願う激励を頂き、最後に安藤沼田商工会議所会頭から、これからも街づくりに中心的役割を期待しているという内容のご祝辞のあと、永井勇第5分区ガバナー補佐の乾杯で祝宴に入り、好意と友情の熱気が最高に盛り上がったところで「手に手つないで」のロータリーソングでめでたく幕を閉じました。

振り返って、当時27名の大先輩によって創立されて50年、今や倍の54名の当クラブにとって、今回の記念式典は、先輩皆様のご苦勞を理解する機会であると同時に、次なる100周年に向かう決意を新たに重要な節目となりました。

その意味で貴重なお言葉を頂いたご来賓各位と祝い励まして下さった参会皆様に深甚なる感謝の誠を捧げ、ご報告といたします。



記念式典の様子

2008-09 年度 地区大会記念事業完了のご報告

「ラオス人民民主共和国 シェンクワン県」への図書配布事業

2008 年 11 月 8 日に開催致しました「地区大会」の記念事業として、ラオス人民民主共和国へ（社）シャンティ国際ボランティア会を通じて地区より「図書箱と本」を寄贈致しました。この度、同事業が完了したとの報告が届きましたのでご報告申し上げます。

図書箱の表面には「ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840 (GUNMA)」とガバナーの名前が表記されています。

Move forward, hand in hand.

■図書箱配布先の小学校について

2008年度、国際ロータリークラブ第2840地区（群馬県）ガバナー・松倉紘洋様にご支援頂きました8箱の図書箱はペーク郡内の下記の小学校に配布させて頂きました。

ボンガームタイ小学校（3箱）、ナーコーン小学校（1箱）、サンチェー小学校（2箱）、カンウィアング小学校（2箱）

図書箱配布先のボンガームタイ小学校の教員です。



■研修会終了後は、教員と図書箱がトゥクトゥクに乗って共に小学校へ帰ります。



地区主要行事一覧表

松倉年度

開	催	日	項	目	場	所
2009	6.	6	(土)	米山記念学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎	
		13	(土)	青少年交換委員会・1年受入交換学生修了式		
		13	(土)	青少年交換学生 第3回オリエンテーション		
		21(日) ~ 24	(水)	国際大会	英国バーミンガム	
		28	(日)	第4回ガバナー諮問委員会	ホテルアミューズ富岡	
		28	(日)	新旧地区役員連絡会議	ホテルアミューズ富岡	

牛久保年度

開	催	日	項	目	場	所
2009	6.	6	(土)	第2回ガバナー補佐会議	クレインパーク山楽荘	
		6	(土)	会員増強セミナー	クレインパーク山楽荘	
		19(金)~26	(金)	国際大会	バーミンガム	
		28	(日)	第4回ガバナー諮問委員会(松倉事務所主催)	ホテルアミューズ富岡	
		28	(日)	新旧役員連絡会議(松倉事務所主催)	ホテルアミューズ富岡	
	7.	1	(水)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪	
		1	(水)	ロータリー財団ゾーンチーム会議	グランドプリンスホテル高輪	
		2	(木)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪	
		11	(土)	第1回ガバナー諮問委員会	クレインパーク山楽荘	
		11	(土)	インターアクト合同会議	高崎問屋町センタービエント	
		19	(日)	第2回 青少年交換委員会(歓送会)	クレインパーク山楽荘	
		25	(土)	インターアクト年次大会	高崎福祉センター	
	8.	28	(金)	米山指定校説明会	クレインパーク山楽荘	
		29	(土)	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議		
		29	(土)	地区R財団・WC Sセミナー		
				ロータリー財団国際親善奨学生選考会		
	9.	6	(日)	四大奉仕セミナー		
		11(金)12	(土)	G E T S ガバナーエレクト研修セミナー		
		12	(土)	第2回ガバナー諮問委員会		
		13	(日)	地区大会記念ゴルフ大会	太田鳳凰G C	
		19	(土)	地区米山奨学研修セミナー	クレインパーク山楽荘	
		27	(日)	第3回 青少年交換委員会(歓送会)		
				地区補助金申し込み開始日		
	10.	17	(土)	地区指導者育成セミナー	クレインパーク山楽荘	
		17	(土)	R I 会長代理歓迎晩餐会	クレインパーク山楽荘	
		18	(日)	地区大会	伊勢崎市文化会館	
		24(土)25	(日)	ライラ研修会	国立赤城青少年交流の家	
	11.	17(火)18	(水)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京	
		19(木)20	(金)	ロータリー研究会	東京	
				第3回ガバナー補佐会議	クレインパーク山楽荘	
	12.	5	(土)	青少年交換委員会(1年交換学生選考会)	クレインパーク山楽荘	
		13	(日)	米山学友会クリスマス会	ホテルメトロポリタン高崎	
		20	(日)	青少年交換委員会(クリスマス会)	クレインパーク山楽荘	
				地区補助金申請締め切り		

新会員紹介



武井 勝彦
高崎 RC

入 会 日 / 2009年3月23日
職業分類 / 調理師
勤 務 先 / 高崎ビューホテル(株)
役 職 / 総料理長
推 薦 者 / 高井 淳夫・吉井 孝夫



大野 英樹
太田 RC

入 会 日 / 2009年4月2日
職業分類 / 生命保険
勤 務 先 / 日本生命(相)太田支社
役 職 / 支社長
推 薦 者 / 岡田 和夫



細井 一樹
伊勢崎中央 RC

入 会 日 / 2009年4月2日
職業分類 / 生花配布
勤 務 先 / 細井生花店
役 職 /
推 薦 者 / 上柿 敬一



本間 敏樹
太田 RC

入 会 日 / 2009年4月2日
職業分類 / 生命保険
勤 務 先 / 日本生命(相)太田支社
役 職 / 支社長
推 薦 者 / 石川 重政



仲田 勝彦
高崎 RC

入 会 日 / 2009年4月6日
職業分類 / 百貨店
勤 務 先 / (株)高崎高島屋
役 職 / 代表取締役社長(店長)
推 薦 者 / 高井 淳夫・箱田 明彦



松井 則幸
富岡かぶら RC

入 会 日 / 2009年4月7日
職業分類 / 税理士
勤 務 先 / (有)松井会計
役 職 / 代表取締役
推 薦 者 / 嶋田 佳幸



牛久保 拓
伊勢崎中央 RC

入 会 日 / 2009年5月7日
職業分類 / 通信設備工事業
勤 務 先 / 有限会社 プモリ電設
役 職 / 代表取締役
推 薦 者 / 石井 宣義・松原 香



橋本 力
伊勢崎中央 RC

入 会 日 / 2009年5月7日
職業分類 / 運送業
勤 務 先 / 株式会社 伊勢崎運輸
役 職 / 代表取締役社長
推 薦 者 / 上柿 敬一



和田 諭
沼田中央 RC

入 会 日 / 2009年5月7日
職業分類 / スキー場
勤 務 先 / 玉原東急リゾート株
役 職 / 総支配人
推 薦 者 / 小林 照夫



女屋 義明
高崎セントラル RC

入 会 日 / 2009年5月12日
職業分類 / 都市ホテル
勤 務 先 / 高崎ビューホテル(株)
役 職 / 総務課支配人
推 薦 者 / 柳澤 佳雄



吉田 稔
高崎南 RC

入 会 日 / 2009年5月12日
職業分類 / 証券取引
勤 務 先 / 日興コーディアル証券(株)
役 職 / 支店長
推 薦 者 / 高橋 充・渡邊 良二

出席報告

第2840地区 4 月 出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	2014	2021	7	76	83.85

クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第1分区分						
前橋	4	90.00	104	106	2	3
前橋西	4	91.69	57	57	0	4
前橋東	4	91.55	63	63	0	3
前橋北	4	88.07	51	51	0	3
前橋南	4	76.52	33	33	0	1
前橋中央	5	82.78	38	38	0	8
合計		86.77	346	348	2	22
第2分区分						
桐生	4	81.1	66	66	0	0
伊勢崎	4	91.93	67	67	0	0
桐生南	4	77.28	33	33	0	2
群馬境	4	83.97	37	37	0	1
桐生西	4	87.54	53	53	0	0
伊勢崎中央	4	84.68	65	66	1	2
伊勢崎南	3	67.68	33	33	0	1
桐生中央	4	72.92	24	24	0	3
伊勢崎東	4	91.66	32	33	1	3
桐生赤城	3	92.46	40	40	0	3
合計		83.12	450	452	2	15
第3分区分						
高崎	3	81.91	69	70	1	0
高崎南	4	86.51	64	63	-1	4
高崎北	4	79.78	66	66	0	0
高崎東	4	86.94	48	48	0	1
高崎シブニー	4	85.90	40	40	0	2
高崎セントラル	4	85.10	34	34	0	0
合計		84.36	321	321	0	7
第4分区分						
太田	4	82.05	76	78	2	2
館林	4	86.27	53	54	1	0
大泉	4	81.71	49	49	0	3
太田西	4	85.19	25	25	0	1
太田南	4	83.23	47	47	0	0
館林西	3	82.45	21	21	0	0
新田	4	82.61	25	25	0	0
館林東	4	89.59	27	27	0	2
太田中央	4	81.71	41	41	0	2
館林ミレニアム	4	88.09	23	23	0	0
合計		84.29	387	390	3	10
第5分区分						
渋川	4	95.40	66	65	-1	2
沼田	4	79.21	54	54	0	0
草津	4	82.25	26	26	0	2
水上	4	85.10	8	8	0	0
中之条	4	91.10	24	26	2	1
沼田中央	4	93.88	50	50	0	0
渋川みどり	4	83.09	36	36	0	2
合計		87.15	264	265	1	7
第6分区分						
富岡	4	94.72	50	50	0	5
藤岡	5	89.79	47	47	0	2
安中	3	72.66	26	24	-2	0
藤岡北	4	68.33	17	17	0	2
富岡中央	5	87.92	40	40	0	0
碓氷安中	4	68.75	16	16	0	2
藤岡南	5	84.00	20	20	0	3
富岡かぶら	4	63.72	30	31	1	1
合計		78.74	246	245	-1	15

| ガバナー事務所スタッフのページ

“最後の月信に寄せて”

地区幹事 村上明男

あの日から3年が経とうとしています。あの日とは、「富岡RCからガバナーを輩出せよ」という地区からの強い要請があった、あの日の事である。

当時クラブ会長だった私は、諸般の事情を考えると断わりきれない、「やるしかないだろう」との判断から、数人の同志とともにガバナー輩出に向けて決起したのです。幸いにも、富岡RC45年の歴史を築いてこられた諸先輩方をはじめとする会員各位の賛同と協力を頂き、富岡RCの総意として松倉紘洋ガバナー誕生にこぎつける事ができたのです。

振り返ってみると、地区運営の「いろは」の「い」の字も判らずに起こした行動は、今更ながら背筋が寒くなる思いがします。しかしながら、気が付いてみれば松倉年度のガバナー月信も今月が最後、任期も残り一ヶ月となりました。

ここまで辿り着けたのも大勢の皆様方の後押しの賜です。何から何までご教示頂いたパストガバナー・研修委員会の先生方、一緒にご苦労頂いた地区役員の方々、暖かい友情を注いでくれた全てのロータリアンをはじめとする関係者各位に“感謝、感謝”です。この経験とご厚情は今後の人生の宝物として大切にしていきたいと思います。

一緒に頑張ってきたガバナー事務所スタッフの面々も同じ気持ちだと思います。スタッフを代表して改めて御礼を申し上げます。

さて、ここからのページは“スタッフのページ”として松倉ガバナー事務所スタッフそれぞれの心境を5・7・5の川柳にまとめ、掲載させて頂きました。

ご高覧いただければ幸いに存じます。

“ありがとうございました”



スタッフ川柳

過ぎてみてあつという間の一年間

地区幹事 村上明男

頼まれて「ウン」と言っただが運の尽き

会計長 横山昇一

老木も若いこずえに支えられ

副幹事 新井恒好（総務）

財団の入り口かじって奥見え

副幹事 浅川達郎（R財団他）

ぼく達も「やるっきゃない」で二年半

副幹事 小林夏夫（米山他）

どうしよう意見が別れボクだまる

副幹事 峯岸正典（青少年交換他）

いつまでもあると思うよ地区資金

副幹事 鈴木孝幸（会計補佐他）

スタッフのチームワークでやり遂げた

副幹事 茂木龍治（地区協議会他）

リハールなき人生の明日がある

副幹事 矢島守正（ローターアクト他）

冷や汗じゃかいても無駄なダイエツト

副幹事 山田利和（インターアクト他）

振り返り最後に想うは「ありがとう」

事務局 入山こず江

万感を 五七五には 詰めきれず

スタッフ一同

編集後記

月信発行担当の任命を受け、今思
い起こせば、あの頃は毎日が悪夢の
ような日々でありました。

スタートを切ってみれば、私を支
えてくれた 良きガバナ―事務所の
スタッフ、常に編集に関わるすべて
のことに際し、手際よく作業してい
ただき毎月一日にはETBにアップし
てくれた、事務局員の入山こず江さ
ん、そして発行に関わっていただい
た関係者の皆様のご協力で この最
終号を発行することが出来ました、
感謝、感謝であります。内容につ
きましては、会員の皆様にできるだけ
早く正確な情報を共有して頂くため
編集に努めました。表紙は、数年後
ユネスコ世界遺産に登録されること
を願い、第一号は朝日を浴びる富岡
製糸場・第二号から十一号迄は甘楽
野の四季、最終号はライトアップで、
よりダイナミックに構える製糸場で
締めくくりました。一年間のご愛読、
誠に有難うございました。



月信担当副幹事

小林 夏夫